

建学の精神、基本理念について

本学の建学の精神は、仏教哲学における第一義諦（だいいちぎたい）に基づく「個性の伸展による人生練磨」である。

広く仏教哲学でいうところの「第一義諦」（サンスクリット語でパラマ=ルタ）では、「第一義」は「それ自身真実なるもの」を意味し、人間一人ひとりの長所や美点、すなわち「個性」を表している。自己にとって最も真実なるもの「第一義」に徹して生きて欲しいという考えが、この建学の精神の根底にある。

これは、創始者である都築頼助、都築貞枝の言葉として、昭和31年4月学校法人高宮学園の創立時から一貫して学園グループの建学の精神とされているものである。

創設者のことば「個性を伸ばし、自信をつけさせ、社会に送り出したい」に示されるように、「人間には誰にも、その人でなくてはならない優れた特性、個性がある。これを見つけ、伸ばし育ててゆくの教育である」という人間存在と教育に対する信念に基づき、「こどもの個性を育てる保育者へと導く理想の教育を実践」することを本学の教育の基本理念としている。